



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

2011 - 2012 年度テーマ

R.I. テーマ 「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」
R.I. 会長 Kalyan Banerjee
2580 地区テーマ 「簡素にして充実」 地区ガバナー 水野 正 人
クラブテーマ 「質素にして充実」 クラブ会長 海内 栄 一

本日の卓話

「究極の自社株対策～公的制度を活用した事業継承～」
東京中小企業投資育成株式会社 次長 桑本淳子 様

今後の卓話予定

4/11 「いま、日本に求められるもの～歴史から学ぶ人間関係」
作家 童門冬二 様
4/18 「クラブ奉仕について」
東京練馬西ロータリークラブ パストガバナー 戸田一誠 様
4/25 「陸軍中野学校秘話」
東京板橋ロータリークラブ (学)杏文学園 高山精雄 様



2012年4月4日

第 1262 回例会

会長 海内 栄 一
幹事 藤掛 靖 元



4月お誕生日祝

8日(64才) 太田富美夫君 27日(58才) 田村 順二君
30日(64才) 海内 栄一君

前回 (3/28 1261 回例会) の記録

来訪者紹介

◆ゲスト	2名	東京品川中央RC 卓話者 坏 昭二様 新入会員候補 立野 秀一様
◆ビジター	2名	東京向島RC 大沼トク子様 東京浅草RC 伊藤景一郎様

出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
45名	1名	3名	39名	2名	95.12%	1259 例会修正 欠席1名・出席率 97.56%

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に！

会長報告 <海内会長>

皆さんおはようございます。

本日は藤掛幹事のゲストで例会見学者として立野さんが見えられています。立野さんごゆっくりお過ごしください。

さて先週水曜日、東日本大震災被災地復興支援特別委員会が開かれました。

この委員会は復興支援の様々な方策や、数々の支援組織がどんな活動を行っているかを

調査・収集し、支援活動を試みる方に情報を伝達する情報センターとしての役割をになうことを第一義とすることを確認しました。

また、先日の浅草本願寺で行われた大法要に協力し、協力金の支出を決議しました。

更には今後の活動として、他のロータリークラブ、宗教界、社会福祉団体、NPO 法人、ボランティア団体の活動内容についてできるだけ多くの事例を収集することを確認い

[<次頁につづく>](#)

たしました。

いよいよ本日から炉辺会合が始まります。指定されたグループのスケジュールが合わない方は、是非他のグループへの出席をお願い致します。

話は変わりますが、スカイツリーの個人予約の抽選受付が始まっています。取り敢えず今回は5/22から5/28までの分ですが、既に50万件以上の応募があるそうです。1日あたり30分ごとに25区分され申し込むことになっていますが、一人第8希望まで一挙に申し込むことができます。したがって、 $50万 \times 8 = 400$ 万件の希望が167区分に投入され平均1区分(30分)あたり24,000件の希望者がいるということでもあります。エレ

ベーターの速さは展望デッキまで50秒、帰りに50秒乗客の乗り降りに3分とすると1往復に凡そ5分ですから30分に6往復です。エレベーターは4基で一度に200人だとすると30分に1000人あまりとなります。すると倍率は計算上およそ24倍で、それほどべらぼうではないような気になります。しかし、これはあくまで個人予約分だけで、実際にはこのほかに団体予約分や、ツアー予約分が入ってくるのでこの倍率の2倍くらいの50倍前後となるのではないかと思います。宝くじと同じで申し込まないと当たりませんが、宝くじより良い点は、外れたら買わないで済むところです。

幹事報告<藤掛幹事>

・次週(4月4日)例会終了後、理事・役員会

を開催いたします。理事・役員の方のご出席をお願いいたします。

委員会報告

<宮村次年度幹事>

・本日例会後に次年度理事、役員委員長会を開催致しますので、出席お願いします。又、予定では3階「清州の間」でしたが当フロアの「雅の間」に変更致しますのでよろしく。

<親睦活動委員会 小林会長>

・親睦旅行4/21・22日が近づいてまいりました。電車で行かれる方は15:26発の

こだまにお乗り下さい。来週・さ来週集金をさせていただきますのでよろしくお願い致します。

<六まる会 吉田代表>

・ポケットにご案内を入れさせていただきましたが4月2日(月)銀座の神田川にて「六まる会」を開催致しますので、奮ってご参加下さい。現在26名のご参加をいただいています。

ニコニコボックス

<原田、天笠、古谷、藤野、藤田、藤掛>

・坏 昭二様 本日の卓話よろしくお願い致します。

<浜中、井田、太田、宮村>

・東日本大震災
頑張ろう 東日本!
立ち上がれ 日本!

<藤掛>

・立野さん、ようこそいらっしゃいました。どうぞゆっくり楽しんで下さい。

<植木>

・本日の卓話者 坏 昭二(アクツショウジ)様をご紹介致します。

「ネットワーク社会の将来を考える」



東京品川中央ロータリークラブ

坏 昭 二 様

工業化社会から情報化社会へ、そして高度情報化社会へと私たちの暮らしが急速に変化をしています。この変化をもたらしているのは「すべての産業を電子化する」と言われている半導体と情報通信技術（ICT）です。これからの社会に ICT 産業が及ぼす影響は計り知れません。ネットワーク社会は今後どのように進み、私たちの生活にどのような影響を及ぼすのでしょうか。

◎高度情報化社会、ネットワーク社会になって、私たちの生活、身近な産業に最も大きな影響を及ぼしたと思われること（物）とは、どんなこと（物）でしょうか？

1. 情報科社会（＝ネットワーク社会）とは、情報が動き、人が動かなくても良い社会。理髪店を除いて、全て居ながらにして用事が足せる社会でしょうか…。
2. 駅前商店街がさびれ、ネットショップ、通信販売、買い物が可能。銀行も証券会社も既に（？）店舗不要に？そして在宅で専門医の治療が受けられる社会が来る？
3. ネットショップの代表格、「楽天」の2010年度売上高凡そ1兆円、登録顧客数6,900万人、これに対し、全国百貨店の総売上高6兆円、従業員数25万人？
4. スマートフォン、ネット人口は世界で20億人、いずれ、幼児と高齢者を除くと、殆どの人が世界で瞬時に結ばれる事となります。
5. こうしたネット社会の急速な拡大の背景に、半導体と高速大容量通信（ブロードバンド）の技術的な急速な発展があります。
6. 半導体の技術的な進歩に限界はないのか？ あるとすればそれは何か？ その時にこの情報化社会はどうなる？
7. 初めて発売された電卓は、当時の小型乗用車と同じ値段をしたのが100円ショップ？何が起きたのでしょうか？
8. 半導体の歴史は、如何にして、顧客（Application）が要求する機能を、安く（望まれるコストで）供給するかが課題でしたが、マイクロプロセサの登場とICの微細化が進み、凡そ2000年頃を堺に、顧客の要求を上回る製品の供給が可能となった。
9. それ以降は、製品が先行、アプリがそれを追って開発される傾向を辿っている。

◎今後、こうしたテクノロジーの変化、進展によって、私たちの社会、産業に更なるイノベーション、変化が起きると思われる分野(プロダクト)、産業は何でしょうか？

1. 高級一眼レフカメラが消え、デジカメが残る？
 2. スマートフォンはパソコンを市場から追い出す？
 3. 新聞がなくなる？ 本は電子化で、印刷業は？
 4. ランドセルが不要？ タイガーマスクが居なくなる？
 5. 勉強はE-Learningで、学校は教科書無しで電子化？
 6. 電気自動車が急速に普及、ガソリンスタンドが町から消える？
- …などなど、枚挙に暇がありません。

証券会社でのプレゼン、「いずれ情報端末が居ながらにして、著名人の公演を可能に…」といったら「先生、あなたの講義も今後は不要になるでしょう。」…と。

◎テクノロジーの変化は産業構造を変化させ、既存の携帯にすき間が生じます。企業は絶えずそうした変化を据え、新規参入の機会をうかがっています。これは「起業家」たちについても全く同様で、事実、マイクロソフトのビル・ゲイツ、アップルのスティーブ・ジョブスなど、エレクトロニクス産業は、短時間に多くの成功者を誕生させています。

さて、今後の産業構造はどう変わっていくのでしょうか。これまでの技術革新の要であった半導体産業の将来は？ 特にこれまでの世界の主な産業の歩みと現状を考察し、これからのネットワーク社会がどう変化するのか。そこには、どのような新しいビジネスチャンスが訪れるのでしょうか？

皆さんと一緒に考えたいと思います。

◎参考1「半導体の産業規模」

大まかな話です。2010年の国内総生産(GDP)を500兆円とします。

「半導体デバイス市場」が凡そ5兆円、GDPの凡そ1%です。

しかし、半導体製造・検査装置、そして、半導体の塊りと言われる高機能端末などIT市場(情報産業)を含めると凡そ25兆円(5%)、更に、「半導体は全産業を電子化する」という事実から、半導体無しには成り立たない自動車、通信、医療、教育などを含めると凡そ200兆円、GDPの凡そ40%となります。いずれ、太陽電池、LED照明、そして電気自動車が主流となるでしょう。

◎参考2「半導体産業の特殊性」

1. 業界標準と互換性。良いものが市場を席捲するとは限らない。TTL、ベータVS.VHS
2. 半導体は夜店では売れない。B to Bの代表的ビジネス。
3. 良いものが生き残るとは限らない。TTL開発で富士通の対応。MC6800vs.8080など。
4. 技術的な優れもの…は黎明期、テクノロジーが拡散すればマーケティングが優先。技術の拡散はコスト競争を招く。TSMCが出来た時から、産業は変わった。
5. 製品寿命が短い。自分の市場を自分で壊す産業。後追い産業が参入できるわけ。
6. 日本の企業は技術の固執、世界市場を対象のビジネスとの認識に欠ける。